

第1回トライボロジー遺産認定 第1号

転がり軸受第1号設計図

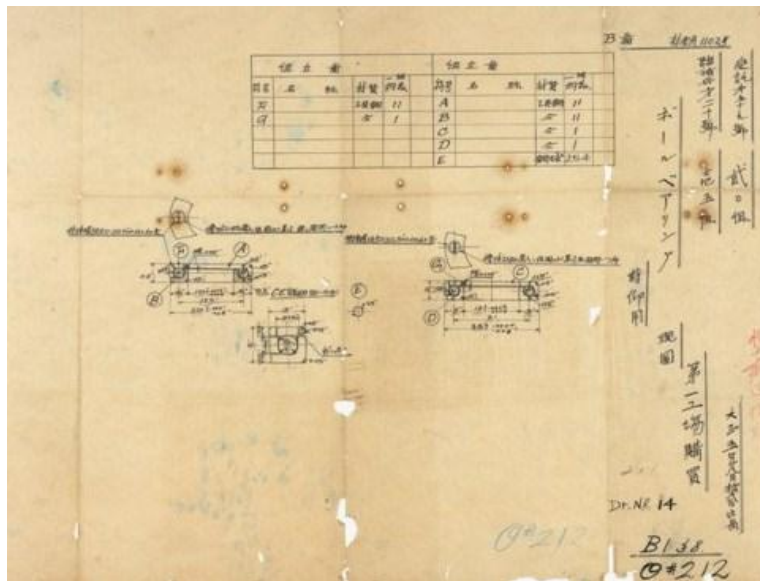
First Ball Bearing Blueprint

軸受のない機械はない。摩擦が低く、使いやすい転がり軸受は、いまや最も身近な機械要素部品の一つとなっている。

欧米では19世紀末に個人の消費財として大量生産が始まった自動車向けに、日本では欧米先進諸国に追いつき工業立国を目指していた20世紀初め頃から機械工業の要である工作機械・産業機械などの生産財向けにこの転がり軸受の本格的な生産が始まった。

「転がり軸受第1号設計図」は、日本に現存している最も古い軸受設計図面（1916年（大正5年）8月12日出図）であり、横須賀海軍工廠造機部から2種類12組を受注し、設計したものである。

本設計図による軸受製造の経験はその後、民間の紡績機械用軸受などへと展開され、戦後は家電、コンピュータ、自動車、鉄道車両、工作機械、鉄鋼設備、人工衛星、風力発電機などの分野で高精度、低摩擦、静音・低振動、長寿命の特長を有する高機能・高品質軸受を生産する技術へ発展し、日本の工業化、高度経済成長を支えてきた。また、環境面でも機械のエネルギーロスを小さくすることで地球の環境保全の実現に貢献し続けている。本設計図は日本の軸受開発史の第一歩を記録する貴重な遺産である。



《写真提供：日本精工株式会社》

日本精工（株） 転がり軸受第1号設計図

公開場所：日本精工（株）自動車部品会館4階展示室（予定）

開館時間：9:00 ～ 17:00

入場料：無料

休館日：土曜・日曜・祝日・年末年始（2011年7月15日まで休館）

住所：〒108-0074 東京都港区高輪1-16-15

電話番号：03-3445-4211

